

令和2年度 青梅市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証について

No	事業名	事業内容	事業実績	総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	事業開始年月日	事業完了年月日	効果の検証方法	検証結果	課名
1	買い物代行支援事業	高齢者・障害者・妊産婦を対象とした買い物代行サービスの実施	利用件数 (高齢者) 1,070件 (障がい者) 416件 (生後6か月の子どものいる家庭および妊婦) 151件	10,328,259	10,213,000	R2.7.1	R3.3.31	実績報告書の集計	買物代行サービスを導入したことで、延べ1,637回分の利用があったことから、新型コロナウイルスの感染を恐れ外出を自粛している層に対する支援として一定の効果があったものと見込んでいる。	高齢者支援課 障がい者福祉課 健康課
2	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(生活自立支援相談体制の強化および住居確保給付金給付事務)	生活困窮者自立相談支援員1名増員(令和2年6月15日～)住居確保給付金予算の増額	住居確保給付金支給決定件数 134件	8,842,810	0	R2.6.1	R3.3.31	申請件数および相談件数	令和元年度相談件数および支給決定件数に対し相談件数が約2.5倍、住居確保給付金の支給決定件数が約9倍の実績があり、十分効果を発揮している。	生活福祉課
3	プレミアム付宿泊券事業	経済的な損失を被っている事業者を経済的に支援するための青梅市プレミアム付商品券を発行	発行数 7,000枚 登録店舗数 25店舗 換金総額 29,755千円	23,592,000	23,592,000	R2.7.1	R3.3.31	青梅商工会議所が市内中事業者にコロナ対策で実施した事業についてのアンケートを実施した。	緊急事態宣言発出に伴う外出の自粛等の影響で、プレミアム付き宿泊券を利用できなくなった市民が増え、結果的には払い戻しとなったため、大きな効果は上げることができなかった。	商工観光課
4	プレミアム付飲食・サービス券事業	経済的な損失を被っている事業者を経済的に支援するための青梅市プレミアム付商品券を発行	発行数 455,000枚 登録店舗数 575店舗 換金総額 454,004千円	120,510,416	120,510,000	R2.7.1	R3.3.31	青梅商工会議所が市内中事業者にコロナ対策で実施した事業についてのアンケートを実施した。	予定販売数を完売し、また、換金率99.78%となり、市内店舗の売り上げ向上に貢献した。	商工観光課
5	テイクアウト・サポートプロジェクト支援事業補助金	テイクアウト・サポートプロジェクト支援事業に補助金を交付	登録店舗数 32店舗 稼働日数 276日 配達個数 16,745個	21,803,980	21,803,000	R2.6.1	R3.3.31	青梅商工会議所が市内中事業者にコロナ対策で実施した事業についてのアンケートを実施した。	事業を受けた事業者の約85%から参考になったとの声があるとともに約70%の事業者から事業の継続を望む声があったことから、事業実施の効果は大きいと捉えている。	商工観光課
6	新型コロナウイルス緊急対策資金	市内の中小企業者の資金繰りの支援を行うため、新たに制度を構築し、信用保証料、利子補給について市が補助	新型コロナウイルス対策資金利用者 348件	81,615,199	79,115,000	R2.4.1	R3.3.31	青梅商工会議所が市内中事業者にコロナ対策で実施した事業についてのアンケートを実施した。	本融資は運転資金であるため、長期的な視点での効果検証は難しい。	商工観光課
7	青梅市農業経営改善計画等実施事業補助金交付事業	野菜その他の地産品の自動販売機の購入等に要する経費の補助	補助金額計 9,001,270円 補助事業件数計 10件	9,001,270	8,343,000	R2.7.28	R3.3.31	売上日誌の提出および聞き取り。	各農家の平均月間売上は1万円～3万円程度であり、中には月間7万円売り上げた農家もあり、販路拡大の効果が大きかった。また、販売所で農家と顧客が直接コミュニケーションをとることが可能になり、その後の売り上げ増につながる効果もあった。	農林水産課
8	公民連携 新たな生活様式構築に伴う地域課題解決プロジェクト	新しい生活様式の普及促進等に向けた課題解決を支援するため補助金を交付	支給件数 5件	3,114,300	3,114,000	R2.6.30	R3.3.31	実績報告による確認	新しい生活様式の普及促進に向けた様々な事業が実施され、公だけでは展開が難しい事業を展開することにより効果があつたと考えている。	企画政策課
9	感染症対策備蓄事業	総合体育館、その他体育施設および避難所で利用する感染症対策用品の購入	消耗品等の購入	5,579,136	5,579,000	R2.6.1	R3.3.31	訓練の実施	感染症対策を踏まえた避難場所開設訓練を当該物品を活用して実施し、発熱者等の受入れ体制をとることに有効であることが立証された。	防災課 健康課
10	青梅市病院事業会計繰出	サーモグラフィー検査機器により、来院者への検温を自動化し、院内感染防止策を効率化	サーモグラフィー 6台購入	2,607,000	2,607,000	R2.6.14	R3.3.31	市議会等で報告	同左	財政課(病院事務局)
11	青梅市病院事業会計繰出	感染拡大防止・抑制のための、接触機会の少ないリモート医療環境の整備およびWeb会議等の推進	リモート医療環境システム整備 リモート会議用PC購入 リモート会議用オンラインツール導入	12,788,094	12,788,000	R2.6.14	R3.3.31	市議会等で報告	同左	財政課(病院事務局)
12	IT化導入支援事業(青梅事業変革プロジェクト～全事業所IT利用促進～)	中小企業ICT支援事業への補助	機器導入支援 148事業所 専門家支援 127事業所 市内共通システム開発 4システム	51,291,677	51,291,000	R2.6.1	R3.3.31	アンケート調査	事業を受けた事業者の約85%から参考になったとの声があるとともに約70%の事業者から事業の継続を望む声があったことから、事業実施の効果は大きいと捉えている。	商工観光課
13	地域産業支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響で売り上げが減少した事業者に対し、1事業者あたり10万円を給付	給付金交付件数 2,991件	303,301,508	303,301,000	R2.8.1	R3.3.31	青梅商工会議所が市内中事業者にコロナ対策で実施した事業についてのアンケートを実施した。	市内事業者からは本給付金について、好評の声を多くいただいた。	商工観光課
14	介護・障害福祉サービス事業所等感染防止支援事業	事業所の事業継続体制の構築支援をするため、介護サービス事業所および障害福祉サービス事業所等が実施する、感染防止対策に要する消耗品・備品の購入等の経費を補助	感染防止対策に要する費用の補助(介護) 128事業所 21,149,897円 (障害) 89事業所 11,857,302円	33,032,559	33,032,000	R2.8.20	R3.3.31	実績報告書	補助金交付後、事業所からも「業務効率が向上し、安全な環境を作ることができた」等の声もあつたため、事業効果が実現したと言える。	介護保険課 障がい者福祉課
15	幼児教育・保育従事者応援事業	緊急事態宣言に伴い、令和2年4月～5月の間において、市内保育施設・市内幼稚園・幼児園で業務に従事した職員に対し、園を通じて応援金を支給	(保育施設) 41施設 1,156人×20,000円 (幼稚園・幼児園) 6施設 88人×10,000円	24,000,000	24,000,000	R2.4.1	R3.3.31	市議会等で報告	同左	子育て推進課
16	市民活動団体支援事業	NPO法人、ボランティア団体、高齢者クラブ、青少年健全育成団体、スポーツ協会加盟団体、文化団体連盟等を対象とした感染予防対策にかかる必要な経費に対する補助	(交付団体) NPO法人 7団体 ボランティア団体 33団体 高齢者クラブ 44団体 青少年健全育成団体 69団体 スポーツ協会加盟団体 24団体 青梅市文化団体連盟 15団体 生涯学習サークル 39団体	7,913,807	7,912,000	R2.9.1	R3.4.1	実績報告書を通して効果を検証	補助金を交付したことで、各団体が主に体温計や消毒の物品を購入することができ、団体の活動中の感染予防に大いに役立った。	高齢者支援課 市民活動推進課 社会教育課 スポーツ推進課
17	給食用材料購入費保護者支援事業	臨時休校から再開した際に、感染対策として品数を減らした給食期間の給食食材費を市が負担し、保護者の負担軽減	対象児童・生徒数 8,814人	32,659,680	32,659,000	R2.6.1	R2.6.30	市議会等で報告	同左	学校給食センター
18	庁舎等感染防止対策事業	市の施設における来庁者の感染防止対策のための消耗品等を購入	消耗品の購入	3,460,811	3,460,000	R2.7.1	R3.3.31	感染者の報告をもとに効果を検証	粗大ごみ受付を狭い受付小屋から、屋外にテントを張り、風通しがある受付場所にするなどで、感染防止と来所者の安心、安全につながった。	総務契約課 清掃リサイクル課
19	地域避難施設環境整備支援事業	自主防災組織において各自治会館等を自主避難(場)所として開設する際の感染症対策に要する経費を補助	11の自主防災組織に対し、各1,200千円を補助	13,200,000	13,200,000	R2.7.29	R3.3.31	訓練の実施	分散避難時における自主避難場所となる自治会館等での感染症対策を図ることができた。	防災課
20	妊婦PCR検査費用補助事業	妊婦に対するPCR検査費用の一部助成	助成件数 38件	729,500	729,000	R2.4.1	R3.3.31	申請件数および金額の集計	R2.10月以降、38件の申請があり、申請のあった妊婦に対し安心感を与えた。	健康課
21	PCR検査推進事業	・青梅市健康センター内にドライブスルー型PCR検査センターを開設し、市内の医療機関からの紹介患者を受け入れ、検査を実施 ・一般の健康センター利用者の感染を防ぐため、感染症予防対策を実施 ・健康センター内青梅休日診療所に対応できない発熱診療およびPCR検査を実施することを目的とする新たな休日診療所の建設工事	・ドライブスルー型PCR検査を実施する青梅市医師会へ補助金を交付 ・消耗品の購入 ・令和3年7月2日、健康センター隣に青梅市休日診療所として開院	114,504,000	104,710,000	R2.9.1	R3.6.30	ドライブスルーPCR検査実施数	R2.9以降、326件実施	健康課
22	休日歯科診療所医療設備更新事業	感染症予防対策として、健康センター歯科診療室に治療用バキュームを設置	年末までに設置を完了し、年末年始の救急患者に対応	3,210,000	3,210,000	R2.10.1	R3.3.31	エアロゾル感染の防止	患者から医師への感染を防止できた	健康課
23	外来診療協力医療機関支援事業	・都市内の医療機関で実施した新型コロナウイルス感染症対策費の支給および安定的な事業継続の支援を行うことを目的とする給付金を支給 ・PCR検査を実施する17の医療機関に対し、防護服等の衛生用品を支給	支給医療機関数 病院 13 診療所 60	2,706,000	2,706,000	R2.10.1	R3.3.31	市議会等で報告	同左	健康課
24	学校感染対策事業	感染症対策に資する備品等の購入	備品等の購入	21,871,674	10,936,000	R2.10.1	R3.3.31	学校訪問による実地調査および学校管理職ヒアリング	学校における感染対策に大いに役立った。	教育総務課(学務課)
25	学校体育施設開放関係感染症対策事業	・学校体育施設を利用した団体が、活動終了後に使用箇所の消毒を行うための消毒用品一式を各学校ごとに購入し、配布 ・総合体育館の網戸設置	消耗品の購入 修繕料	1,215,341	1,215,000	R2.10.1	R3.3.31	学校体育施設使用ガイドラインを作成し、消毒チェック表による各団体の消毒実施状況の確認	各学校に消毒用品を配置したことで、活動中の感染予防に大いに役立った。	スポーツ推進課
26	避難所環境整備事業	避難(場)所開設時における感染症対策に必要なパーテーション等を購入	ダンボールパーテーション 3,000枚 テント型パーテーション 460台等	7,823,600	7,823,000	R2.10.1	R3.3.31	訓練の実施	感染症対策を踏まえた避難場所開設訓練を当該物品を活用して実施し、発熱者等の受入れ体制をとることに有効であることが立証された。	防災課
27	リサイクルセンター感染防止環境整備事業	破砕機内の流し台整備等	流し台の整備等	1,617,110	1,616,000	R2.10.1	R3.3.31	感染者の報告をもとに効果を検証	ごみが流れる手選別コンベア近くに流し台設置やセンター各所に消毒液を設置したことで、感染防止と廃棄物処理の安定的な業務につながった。	清掃リサイクル課

No	事業名	事業内容	事業実績	総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	事業開始 年月日	事業完了 年月日	効果の検証方法	検証結果	課名
28	商店街感染症対策補助事業	感染症拡大防止の取組およびイベントに補助金を交付	感染症拡大防止の取組 6千円 歳末大売り出し 2,786千円	2,792,000	2,792,000	R2.10.1	R3.3.31	市議会等で報告	同左	健康課
29	新生児特別定額給付金	令和2年4月28日から令和3年4月1日の間に生まれた子ども1人につき10万円を支給	支給者数 488人	48,900,190	48,900,000	R2.10.1	R3.3.31	給付金の申請率	本給付金の申請率が特別定額給付金の申請率を超える100%であったので、本事業の効果は十分にあったものと考えられる。	福祉総務課
30	対話支援システム導入事業	飛沫防止パネル設置やマスク着用に伴う窓口での聞こえにくさを改善する卓上型対話支援機器の購入	備品の購入	1,176,758	1,176,000	R2.10.1	R3.3.31	設置窓口に来客された方への聞き取り	対話支援システム「コミュニケーション」を導入したことで、新型コロナウイルス感染症防止用アクリルパネル越しでも、効果的に声を届けることができた。	高齢者支援課 障がい者福祉課
31	動画コンテンツ活用事業	ショートムービーによる動画コンテストを開催し、応募作品等を利用した市のPR動画を製作	応募件数(2部門合計) 43件	4,330,700	4,330,000	R2.10.23	R3.3.22	①特設サイトのアクセス解析 ②コンテスト開催中 ・一次審査投票数の確認 ③コンテスト開催後 ・入賞作品視聴回数の確認 ・総再生時間の確認	②について 一次審査の総投票数は、1,541票であったため、目標数に達することができなかった。ただし、視聴者の中には、投票しない方もいるため、開催中に動画を楽しんでいた人数は、投票数以上であることから、一定の成果は得たと考えられる。 ③について 市公式動画チャンネルに掲載されていた動画(※)と比較すると、令和3年4月1日から令和4年3月31日の期間について、概ね同程度かそれ以上の視聴回数となった。総再生時間については、目標が達成されていないが、公開動画の長さの違いにより、視聴回数に比べ総再生時間が短くなっているものと考えられる。今後、市公式動画チャンネルの登録者増加を図る中で、動画の再生数も向上すると考えられる。 ※コンテスト入賞動画を登録する市公式動画チャンネルの分類と同じもので、コンテスト終了時点で最新のものを抽出する。	秘書広報課
32	テレワーク推進事業	・市内にテレワークオフィスを設置しようとする事業者を支援するため、整備費用の一部を補助 ・青梅市民センターを除く10センターにWi-Fiを整備し、全市民センターに簡易テレワークスポットを整備	支給件数 2件 11市民センターに簡易テレワークスポット整備	6,018,360	6,018,000	R2.9.24	R3.3.31	事業実績報告による確認	本事業によるテレワークオフィスの稼働が令和3年4月のため現在稼働実績の提出を求めており、その結果にて効果を検証予定	企画政策課
33	市議会リモート環境整備事業	議会用タブレット端末の購入等により、非対面による会議の実施や文書資料の共有化等の環境を整備	タブレット端末の購入	8,228,000	8,228,000	R2.10.1	R4.3.31	アンケート調査	非対面(リモート)による会議を実施したほか、議会資料等の共有化(ペーパーレス)など事業効果が十分発現しており、今後更なる効果が期待できる。	議会事務局
34	職員テレワーク環境整備事業	市職員がテレワークを行える環境を整備	テレワーク用PC 30台 Web会議用タブレット 15台	6,261,458	6,261,000	R2.10.1	R3.3.31	使用実績調査	新型コロナ感染対策などにテレワーク専用端末が利用され、土日を除き毎日平均で80%以上貸し出されており、効果があった。	情報システム課
35	電子申請促進事業	窓口手続の電子申請化を推進	30の手続を電子申請化	2,475,000	2,475,000	R2.10.1	R3.3.31	電子申請数調査	新規メニュー数が全体の6割以上増加し効果があった。	情報システム課
36	GIGAスクール構想端末整備事業	小中学校における学習用コンピュータ購入(児童生徒1人1台)	(小学校) 購入台数 6,319台 (中学校) 購入台数 3,361台	472,903,200	194,623,000	R2.10.29	R3.3.31	アンケート調査	導入1年目において時間や場所を問わず十分な活用ができているといえる。	指導室
37	生活支援臨時給付金支給事業	平成14年4月2日から令和2年8月31日までに出生した18歳未満の者の属する非課税世帯に対し、1世帯当たり3万円を支給	支給決定件数 823件	25,002,639	25,002,000	R2.7.1	R2.12.31	給付金の申請率	本給付金の申請率が97.2%であったことから、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯に対し、一定の支援を行うことができ、事業効果を発揮している。	生活福祉課
38	就学援助給食費特別支援事業	学校の臨時休業および給食の休止期間中の昼食費を支援	就学困難生徒就学奨励費認定者 632人 特別支援学級就学困難生徒就学奨励費認定者 98人 (中学校) 就学困難生徒就学奨励費認定者 300人 特別支援学級就学困難生徒就学奨励費認定者 57人	11,673,288	11,672,000	R2.7.1	R2.12.31	市議会等で報告	同左	学務課
39	中小企業振興資金緊急資金融資事業	信用保証料、利子補給の令和3年度以降分の基金化	新型コロナウイルス対策助け合い基金(第1号基金)に積立	62,411,000	62,411,000	R2.12.4	R3.3.31	青梅商工会議所が市内中事業者にコロナ対策で実施した事業についてのアンケートを実施した。	本融資は運転資金であるため、長期的な視点での効果検証は難しい。	商工観光課
40	子ども・子育て支援交付金	緊急事態宣言に伴い、令和2年4月～6月の間において、児童保育所へ登所自粛に協力した児童の育成料について、保護者へ返還した場合等の経費を補助	(公設民営) 4～6月 減免延べ人数 1,631人 (民設民営) 4～6月 減免延べ人数 99人	8,537,500	2,346,000	R2.4.1	R2.6.30	市議会等で報告	同左	子育て推進課
41	学校保健特別対策事業費補助金	コロナ禍において集団感染のリスクを避け、児童・生徒が安心して学ぶことができる体制の整備を促進するための保健衛生用品の整備	消耗品の購入	11,266,944	1,526,000	R2.4.1	R3.3.31	学校訪問による実地調査および学校管理職ヒアリング	学校における感染対策に大いに役立った。	学務課
42	学校保健特別対策事業費補助金	・感染症対策および夏季休業期間短縮等に伴う熱中症対策に必要な物品の購入 ・感染症対策等を徹底しながらの教育活動や家庭学習を実施する際に生じる経費の補助	消耗品等の購入	74,164,437	37,081,000	R2.4.1	R3.3.31	学校訪問による実地調査および学校管理職ヒアリング	学校における感染対策および学習保障に大いに役立った。	教育総務課
43	文化芸術振興費補助金	展覧会開催に際し、来館者への感染症対策のための消耗品を購入	消耗品の購入	58,420	22,000	R2.6.2	R2.12.31	実際の結果から効果を検証	感染症対策に必要な物品を購入し、館内での手指消毒の徹底および消毒作業の実施したことにより、館内での感染防止と来館者の安全・安心につながった。	文化課
44	文化芸術振興費補助金	企画展等に際し、来館者への感染症対策のための消耗品を購入	消耗品の購入	39,886	15,000	R2.8.1	R3.1.31	実際の結果から効果を検証	感染症対策に必要な物品を購入し、館内での手指消毒の徹底および消毒作業の実施したことにより、館内での感染防止と来館者の安全・安心につながった。	文化課
45	学校臨時休業対策費補助金	臨時休校に伴う学校給食中止により発注した食材のキャンセル料等の青梅市学校給食会の支払いを補助	食材納入業者 13社	7,278,387	1,820,000	R2.6.19	R2.9.9	市議会等で報告	同左	学校給食センター
46	公立学校情報機器整備費補助金	小中学校における校内情報通信ネットワーク環境構築にかかる支援員の配置	管理者・教員用マニュアル作成支援等	10,897,480	4,003,000	R2.11.24	R3.3.31	市議会等で報告	同左	指導室
47	障害者総合支援事業費補助金	特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援等事業の実施	特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援等	819,000	819,000	R2.9.11	R3.3.31	市議会等で報告	同左	障がい者福祉課
48	市民センター新型コロナウイルス感染症対策トイレ整備事業	本館トイレにおける感染防止対策(便器の洋式化および自動水栓化、手洗い・照明の非接触型整備等)の実施	市民センター 10施設	89,025,200	14,215,000	R2.8.21	R3.3.5	聞き取り調査	スイッチ類のセンサー化等により接触が減り衛生的との評価があり、効果的であったと考える。	市民活動推進課
49	健康センター新型コロナウイルス感染症対策トイレ整備事業	トイレ感染防止対策(洋式化、手洗い・照明の非接触型整備等)の実施	健康センターのトイレに自動水栓等を設置	18,368,000	18,368,000	R2.4.1	R3.3.31	非接触対応機種を導入	来庁者の感染を防止できた。	健康課